

【複数年度(1年目)】JR宮崎駅を拠点とした幹線道路等における多様な地域ニーズに対応した道路空間に関する社会実験(宮崎県、宮崎県宮崎市)

1. 実験概要、留意すべき項目

- ・ 駅周辺の幹線道路等における多様なニーズに対応するための道路空間の柔軟な使い方について検証を行う。
- ・ 道路空間の日別、時間帯別運用など、道路占用許可制度の見直しに結びつく実験となっていること。

2. 今年度の調査内容、調査結果

①日別時間帯別の道路占用管理(路側マネジメント)

- ⇒歩道空間を利用したイベントを2回開催
- ⇒荷捌きスペースの候補地選定、関係者協議実施
- ⇒共同駐輪場設置に向け、賃貸借協議実施

②道路空間の再配分、運用方法の見直し

- ⇒イベント開催時に自転車通行状況調査実施
- ⇒自転車通行帯設置に向け、関係者協議実施



自転車の通行状況調査

高千穂通りで社会実験を実施します

実施日 12月5日

規制時間 10:00~17:00

車道の一部が自転車通行レーンに変更になります

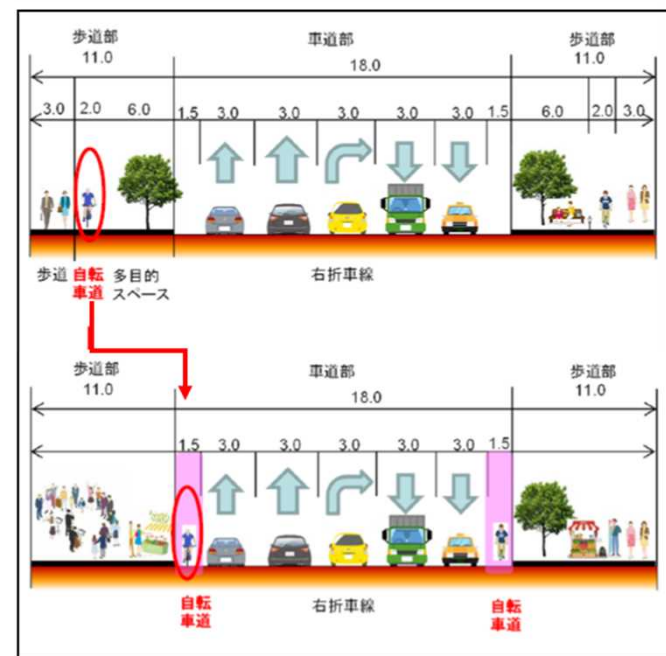
社会実験実施区間

○高千穂通りの宮崎駅から横通3丁目交差点に向かう車線(南側車線)が2車線から1車線へ変更となります。

○南側車線に自転車通行レーンを設置します。自転車は自転車通行レーンを通行してください。

【主催】高千穂通り周辺地区の道路空間活用協議会
問い合わせ：宮崎県都市計画課 ☎0985-26-7192

社会実験広報チラシ



道路空間の再配分

3. 次年度の社会実験に向けて

実験メニュー	実験内容
日別時間帯別の道路占用管理(路側マネジメント)	時間貸しスペース、荷捌きスペース、駐輪抑制スペースを設定 民地等を活用した仮設駐輪スペースを設置
道路空間の再配分、運用方法の見直し	自転車通行帯の運用可能性を検証

【複数年度(1年目)】JR宮崎駅を拠点とした幹線道路等における多様な地域ニーズに対応した道路空間に関する社会実験(宮崎県、宮崎県宮崎市)

4. 今後のスケジュール

- 令和4年4月～12月:路側マネジメント現地実証実験
- 令和4年4月～12月:道路空間再配分現地実証実験
- 令和4年4月～12月:イベント開催
- 令和4年4月～12月:歩行者・滞留者数調査、利用者アンケート調査、運営者ヒアリング
- 令和4年4月～6月、8月、11月:効果分析、評価

5. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
高千穂通りを軸に両端(宮崎駅側と山形屋)をシャトルバスのように運行すると面白い。	運輸局から一般乗合旅客自動車運送事業の認可を得て運行しており、路線バスと同様に「定時定路線の運行」が求められる。ルート変更や料金変更については、民間交通事業者の収益を圧迫しないよう配慮する必要があるため、関係事業者や行政等から構成される地域公共交通会議での承認等を得る必要があり現状では困難と考えている。
広島通りで、スタンプラリーのような取り組みができるとよい。	来年度の実験の際には考慮する。
仮設の点字ブロックを設置してカフェのテーブルなどおいてはどうか。	今後の検討課題とする。
協議会が占用して事業者が予約システムで利用を登録する仕組みに期待する。	来年度の実験の際に検討する。
高千穂通りで、現在のスペースを区分して駐輪スペースを作るほうが利用しやすいのではないか。	来年度の実験の際に検討する。
高千穂通りについて、民間企業の意見、要望を聞いてもらいたい。	R4年3月のアンケート調査に向けて準備中であり、来年度、整理分析する予定である。

6. 評価

- ・ 順調に実験が進んでいる。
- ・ 次年度の実験内容が具体化されているため、継続して実験を行うことが妥当と考える。